『伝える力・受け取る力』

校長　千　石　正　巳

ひと雨毎に冬の足音が近づき、学校前の木々も紅葉から少しずつ寒そうな姿に変わってきました。風の子の子ども達もちょっと背中を丸めながらの登校姿が目につくようになりましたが、そのような中、来月２１日の学習発表会に向けての準備が進められ、時折楽器の音も校内に響くようになってきました。

１０月９日（金）のマラソン記録会。多くの声援を送っていただきありがとうございました。今年度で最後となるマラソン記録会では、子ども達は多くの声援を力として、全員が練習の時よりも良いタイムでゴールすることができました。

また、２４日（土）の廃品回収。冷たい風がふく中、ご協力いただきありがとうございました。地域の皆様も古紙や鉄の提供をいただきありがとうございます。収益金につきましては、今後、子どもたちの行事費をはじめ教育活動の補助として、大切に使わせていただきます。次年度も、廃品回収を行う予定ですので、ご協力を宜しくお願いいたします。

さて、前号では、学校運営協議会の中で、中１ギャップへの対応や挨拶などコミュニケーション能力の指導等についてご指摘をいただいたことをお知らせいたしました。今後、小学生が大人になる頃には、様々な仕事がＡＩ（エーアイ）にとって変わられるという世の中になると言われています。しかし、ＡＩは「なぜ？」と考えたり、相手を思いやる気持ちをもってコミュニケーションをとったりするのは苦手だそうです。逆に言えば、なぜを考え行動したり、コミュニケーションを必要としたりする仕事はなくならないとも言われています。ですから、日頃から「なぜ？」を大切にした授業作りや元気な挨拶から生まれるコミュニケーション、思いやりの気持ちを大切にする指導に先生方は取り組んでいます。

しかし、これらのことは昔から大切にされてきたのですが、なぜ重要視されるようになったかということの要因の一つに環境の大きな変化が挙げられます。

先日、養護教諭が特集「子どもとスマホ」の文書（ゆるーい思春期ネットワークの磯村毅氏）を校内回覧していました。内容は、スマホ依存とそこから起こる弊害、その対処についてですが、一部、環境変化とコミュニケーションに係わる部分もありましたので、紹介します。

１つ目は電話です。昔は家庭に一台しかなかった電話ですが、携帯電話等の普及により家庭に電話をかけなくても直接本人とやりとりできることにより、不特定の人とのコミュニケーションをとるスキルを身に付けることができづらくなっていること。

２つ目はテレビです。ビデオの普及によりチャンネル権をめぐるやりとりをしなくても、自分の好きな時間に好きな番組を見られるようになったことにより、「見たい。（したい）」と主張したり、待ったり、我慢したりする、コミュニケーションと共に忍耐力を鍛える機会が減ってしまっているとのことです。スマホやタブレットを使って無料で自分の好きな動画を見られるようになるとなおさらです。

家庭の中でも自然と身に付けていたことが、知らず知らずのうちにその機会が減る環境の中にあるというのです。

確かに我が家でも高校を卒業した子が３名おりますが、ほぼほぼ他者に対して電話をしている姿を見たことがないので、どのような言葉遣いをしているのか・できているのかわかりませんし、それに対する指導をした記憶もありません。また、テレビも同様で、今では、テレビやビデオというよりは、スマホやタブレットで動画を楽しんでいる時間が多いように感じます。テレビのチャンネル権だけで、忍耐強さが鍛えられということはありませんが、中毒性は感じられます。現在の子ども達はどうでしょうか？

１０年以上前、私が「外国語活動」を担当していた時の話です。会議のため事前にALTのDawn（ドーン）先生と打合せができなかったので、電話でやりとりをしました。０月学習をするのに、私は０月の「month」を英語を使って言っていたのですが、話がかみ合わない時間がやや続きました。「まんすって何ですか？」「だから～。」数分後に問題解決。Dawn先生は「month」を日本語の「まんす」として、似た言葉の中から合う日本語を一生懸命に探していたためでした。彼女は、私のことを思って、伝えた言葉を受け止めてくれていたのです。多少の行き違い、思い違いがあっても「伝えよう」「受け止めよう」という気持ちが互いの理解、わかり合えることに繋がっていくのだと感じた瞬間でした。

コミュニケーション能力育成のため、語彙の獲得が必要とされています。コミュニケーションですから、伝える側だけではなく、もちろん受け取る側にも大変重要です。生活環境ももものすごいスピードで変わり、使われなくなった話し言葉も増えていますが、表現を豊かにする言葉を自分のものとするため、朝読書にも取り組んでいます。児童会文化委員会が中心となって１０月２１日から１１月１日までを読書週間と設定して取り組んできました。動画から得られる表現もたくさんあると思いますが、書き言葉から多くのものを受け取ってもらえていることに期待しているところです。

また、２８日（水）の午後には、教育委員訪問があり、宮田嘉明教育長職務代理、轡田光章教育委員、倉本茂子教育委員、阿部みどり教育委員さんらが授業参観等を行いました。その中でも積極的な読書への取組について、評価いただきました。

今後も、相手を意識した表現や分かりやすく適切な言葉で表現ができるよう、そして正しく受け取れるように、学習・委員会活動・児童会活動など様々な場面で指導を行っていきます。

次年度に向けて、2学期制を検討しています!

現在、次年度の４月から、３学期制から２学期制にすることを検討しています。夏休みや冬休みを区切りとした３学期制から、１年を９月末・１０月初旬で前期と後期に分けることとなります。それに伴い、通知表も年３回から２回となります。その分、じっくりと学習に取り組む期間が多くなると考えています。

詳しくは、２学期末の参観日で全体懇談会を行い、その中で説明をし、ご意見等をいただこうと考えていますので、ご承知おきください。

北新小NEWS

最後の記録会

１０月９日（金）、マラソン記録会を行いました。当日まで体育の時間の他にも、登校後自主的に練習をする姿が見られました。多くの保護者の方にもご参観いただき、真剣に自己記録の更新を目指して走る姿を見せてくれました。

後期児童会活動スタート

１０月１６日（金）後期児童総会が行われ、今年度後半の児童会活動がスタートしました。楽しい半年が送れるよう活躍を期待します。

〇会　長　６年　水　戸　来　羽
〇副会長　５年　進　藤　理　弥
〇書　記　６年　小野寺　七　愛

ピアニスト田村緑さんを迎えて

１０月２１日（水）低学年でアウトリーチを行いました。今回はピアニストの田村緑さんをお迎えして、ピアノ曲の鑑賞をしたほか、ハンドベルを使って一緒に演奏をして１時間楽しみました。活動後、「ピアノを弾く手が速く動いてすごい！」という素直な感想を述べていました。

ご協力ありがとうございます

１０月２４日（土）PTAの廃品回収を行いました。当日は保護者９名、児童５名にご参加いただき、寒空の中、古紙、鉄類の回収をしていただきました。収益はPTA活動・児童の活動の補助として使わせていただきます。地域の皆様に廃品のご協力をいただいたことに感謝申し上げます。

これらの活動の様子は、本校ホームページでも公開しております。
http://ed.city.fukagawa.hokkaido.jp/hokushin-el

ＱＲコードを使ってスマホなどで簡単に見られます。→

チャレンジ深川（冬）の中止について

授業時間の確保のため、夏休み同様冬休みも例年より短くなります（１２月２６日～１月１１日の１７日間）。そのため、チャレンジ深川（冬）も今年度は中止とさせていただきます。毎回７割以上の児童に参加していただき、学習した内容の復習期間として貴重な時間となっております。次年度またご案内させていただきますので、その節はご協力をお願いいたします。

学習発表会について

今年度の学習発表会を次のとおり実施いたします。例年であれば、お子様の在籍学年関係なく１年生から６年生まで全ての発表を通してご覧頂いておりますが、今年度は、会場内の３密を避けるため、「低・中・高」３ブロックの入れ替え制で実施させていただきます。また、道内で感染者が増加傾向にあり屋内での催しであることから、ご来賓・地域の皆様へのご案内は控えさせていただきます。ご理解いただきますようお願い申し上げます。

日　時　１１月２１日（土）
低学年発表…　９：００～　９：４０
中学年発表…１０：００～１０：４０
高学年発表…１１：００～１１：４０
場　所　北新小学校体育館

※保護者の皆様には、後日改めてお便りでお知らせいたします。

１１月の生活目標
正しい言葉づかいを心がけよう

２日（月）全校朝会　交通安全日
職員会議
いじめアンケート（~5日）
３日（火）文化の日
５日（木）放課後教室　研修日
６日（金）学習発表会特別日課開始
教育相談（~12日）
７日（土）北空知小中学校作品展
（~13日　生きがい文化センター）
１３日（金）交通安全日
いじめ防止対策委員会
１５日（日）開校記念日
１９日（木）学習発表会総練習
２１日（土）学習発表会
２３日（月）勤労感謝の日
２４日（火）振替休業
２５日（水）秋の健康相談日（~27日）
学習発表会後片付け
PTAスポーツ交流会
２６日（木）研修日
２７日（金）児童委員会
３０日（月）職員会議

北新小学校開校は１０３才になりました

１１月１５日は、北新小学校の開校記念日です。大正６年（１９１７年）に、一已尋常小学校一已分教場として開校して以来北新小学校は１０３年目を迎えました。現校舎は昭和５３年（１９７８年）に完成し、４２年間子どもたちの学習を支えてくれています。歴史ある学校をこれからも大切に使っていきましょう。

１１月は、北海道心の教育推進キャンペーン協調月間です。

子どもたちの豊かな心を育むために、生命を尊重する心、他者への思いやり、倫理観や正義感、美しい物に感動する心などについて、親子で考えてみませんか。どこかに出かけた後やテレビを観た後のちょっとした会話でも結構です。